

会議報告

「日中韓国立教育政策研究所長会議」を開催

平成 23 年 11 月 25 日（金）、国立教育研究所内において、日本国、中華人民共和国及び大韓民国の三つの国立教育政策研究所長による「第一回日中韓国立教育政策研究所長会議」が開催された。

日本国、中華人民共和国及び大韓民国の三国間での人的・文化交流を活発化させ、国民レベルの絆を深めることが重要であるとの認識が、平成 23 年 5 月の日中韓サミットにおいて確認されている。こうした中、日本国の国立教育政策研究所の徳永保所長、中国教育科学研究院の袁振国院長及び韓国

教育開発院の金泰完院長が一堂に会して、国際的な交流・協力を推進する意義について共通理解を深めるとともに、今後の三研究所間の交流・協力の推進方策について議論を行うこととなったものである。

まず、教育研究分野において三国間の交流・協力を推進すべきであるとの認識を相互に確認し、日中韓の国立教育政策研究所長による会合を定期的に交代で開催することと、今回の会合を第一回日中韓国立教育政策研究所長会議と位置づけることが合意された。

続いて、教育研究分野における三研究所間の交流・協力の具体的な推進方策について議論が行われるとともに教育研究分野における三研究所間の交流・協力の内容についても議論が行われた。

そして、議事終了後には、三所長による会議概要への署名式が行われた。

なお、次回の日中韓国立教育政策研究所長会議は、平成 24 年 8 月下旬に大韓民国で開催される予定である。

(研究企画開発部総括研究官／北風幸一)



会議概要への署名式



左から韓国教育開発院長、国立教育政策研究所長、中国教育科学研究院長



集合写真